



仲間と協力しながら、粘り強く挑戦し続ける真穴っ子

2学期が始まり、子供たちの元気な声が校内に響いています。学校もフル稼働し始めた感じがしますね。

始業式で、私の大好きなマンガ「宇宙兄弟」の話をしました。このマンガは、六太とヒビトの兄弟が宇宙飛行士になるという夢に向かって頑張る話です。式では、その中に出てくる言葉を紹介して2学期への思いを伝えました。

大きな夢を叶えようとすると、自分の前に大きな壁がそびえているように感じて「自分には無理だ」と思ってあきらめてしまうことがあります。しかし、本当は大きな壁などありません。大きな夢の前には、小さなドアがたくさんあるのです。新しいことを知るドア。少し成長するドア。仲間と力を合わせるドア。最後までやり抜くドア。そんな小さなドアを一つずつ開けていくことで、夢に近付いていくのです。そして、そのために大切なのは、「意地でも、次のドアに手を伸ばし続けること」です。うまくいかないことがあってもかまいません。失敗してもかまいません。あきらめずにもう一度挑戦すること。仲間と協力しながら前に進むこと。それが夢につながっていきます。

真穴小学校の校訓の一つに「たくましく」があります。校長先生はみなさんに、「仲間と協力しながら、粘り強く挑戦し続ける真穴っ子」になってほしいと願っています。

2学期には、みなさん一人一人の前にも、たくさんの小さなドアが現れるはずです。

ぜひ勇気を出して、そのドアを一つずつ開けてください。みんなで力を合わせて、すてきな2学期にしましょう。

夏休みの努力を力に、2学期へ

5年の　　さんが、夏休みに頑張ったことと2学期の目標についての作文を発表しました。

さんは、この夏、読書とバレーボールに熱心に取り組みました。図書館の「読書マラソン」に参加して多くの本に親しみ、読書の楽しさをさらに感じる事ができたそうです。

また、バレーボールではレシーブ練習を重ね、あきらめずに挑戦する中で自信を深めました。

2学期は、漢字学習の充実、陸上大会出場を目指した練習、そして音楽発表会での鉄琴演奏に力を入れたいそうです。夏休みに培った努力を生かし、勉強や運動、音楽に全力で取り組もうと意欲を見せています。　　さんも、小さなドアをたくさん開けて夢を叶えてくださいね。応援しています。

